

## 令和2年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和元年度実施事業）

基本データ	事務事業名			担当部署				
	会計事務			部		課長	小林 瞳美	
				課	会計課	担当	石川 真利子	
				係	会計係	電話	2102	
	第五次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>			
	政策項目	07 計画の実現のために			地方自治法／会計事務規則／公金取扱金融機関規則			
	大項目	-						
	中項目	03 自主自立による行財政運営			法令による事業実施義務			
	個別計画(年度)				<input checked="" type="checkbox"/> 義務( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
	予算科目コード	款	02	項	01	目	05	
	細目	001	細々目	01				
事務事業概要	目的							
	<対象は誰、何が>				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>			
	債権債務者				出納事務処理を正確、迅速に行い、債権者に請求金額を速やかに支払う。また債務者からの収納金を正確に収納する。			
	実施内容				実績・成果			
	①市長からの支出命令、収入通知等を審査する。 ②債権者に支払いをする。 ③納入義務者等から現金等を収納する。				令和元年度の処理件数状況 【一般会計】 収入 21,191件、支出 26,849件 【特別会計】 収入 4,410件、支出 3,092件			
	コスト		(単位)	30決算	31当初予算	元決算	2当初予算	備考<特財名称等>
	直接事業費		千円	1,770	1,879	1,853	1,980	雑入-水道事業会計負担金 (23-04-05-01-23)9千円
	財源内訳	国庫支出金	千円					下水道事業会計負担金 (23-04-05-01-24)17千円
		都支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他特定財源	千円	7	10	10	26	
		一般財源	千円	1,763	1,869	1,843	1,954	
	一般職員人件費		千円	63,840	75,240	75,240	75,240	
	人工数		人	8.00	9.00	9.00	9.00	
	再任用職員人件費		千円					
	人工数		人					
	会計年度任用職員人件費		千円					
	人工数		人					
	総事業費		千円	65,610	77,119	77,093	77,220	
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による							
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3
	判断理由				判断理由			
	債権者への正確かつ迅速な支払及び収納金（市税、使用料等）の正確な収納を法令等にのっとり適切に執行する。				適切に支出・収納できるよう、正確かつ迅速に審査・指導を行った。			
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	④効率性（効率的に実施できたか）			3
課題と今後の方向性	判断理由				判断理由			
	財務会計システムでの出納事務処理によりスマートな出納事務処理が行われおおむね達成できているが、各課担当職員のより一層のレベルアップを図り、円滑な会計事務の流れを確保する必要がある。				事業の成果については特段の変化はない。また、総事業費についても前年度と変わらないため。			
	現状及び中長期的な課題				今後の方向性			
	適正で迅速な出納事務について、おおむね実施できたが、会計事務規則を含む法令や現金取扱基準のさらなる遵守に向け、内部統制に努める。				(前年度 現状を維持 )		B	コスト改善に向けて実施方法を見直し
	会計事務を取り巻く環境について、今後は各金融機関の要望が厳しくなることが予想されるが、柔軟かつ適切に対応し、指定金融機関及び収納代理金融機関との契約を締結させる。また、2024年1月に予定されているISDN回線終了に伴う伝送環境の整備について、各金融機関の情報収集に努め対応する。				令和3年度予算編成における具体的な取組			
					金融機関の体制の見直しや料金改定等により、指定金融機関等から要求が増加する中、他市との均衡や負担額の適正性を考慮しつつ、事務手続きの改善等を図り予算への影響額を最小にする。また、決算書の発行について、コスト削減のため印刷方法を見直し、外部発注から府内印刷へ変更する。			